

事務事業評価シート

(H.29)No.	1464	(H.28)No.	1464
-----------	------	-----------	------

事務事業名	放課後児童クラブ待機児童解消事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
福祉子ども部	子ども家庭室	福地 さおり	

会計区分	事業コード	194101
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 民生費	放課後児童クラブ待機児童解消事業	
項 児童福祉費	(小事業名)	
目 児童福祉総務費	放課後児童クラブ待機児童解消事業	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政 策	1	支え合い健康でいきいきと暮らせるまち
	基本施策	3	地域福祉の充実
	施 策	3	子ども・子育て支援
重点プロジェクト	2. 若者定住促進プロジェクト		

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)	放課後児童クラブの待機児童解消により、留守家庭児童の健全な育成を図るとともに、保護者の仕事と家庭の両立支援を図る。
事業内容	桔梗が丘小学校区放課後児童クラブの待機児童解消のため、面積当たり1.65㎡の確保に向けて、施設整備を行う。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.28年度(事業量・取組実績)	H.29年度(事業量・取組計画)
主な事業の実績・計画	桔梗が丘小学校区放課後児童クラブ ・プレハブ建設工事及びリース 建築面積約50㎡ ・既存倉庫の解体、移設等工事	桔梗が丘小学校区放課後児童クラブ2 プレハブリース

	H.30年度(事業計画)	H.31年度(事業計画)	H.32年度(事業計画)
	桔梗が丘小学校区放課後児童クラブ2 プレハブリース	桔梗が丘小学校区放課後児童クラブ2 プレハブリース	未定

	H.28年度(決算見込)		H.29年度(作成時予算額)		H.30年度(計画予算)	H.31年度(計画予算)	H.32年度(計画予算)
	H.27繰越分	H.28現年分	H.28繰越分	H.29現年分			
①直接事業費		6,378千円		880千円	880千円	880千円	0千円
内訳(千円)	国・県支出金	3,000		440	440	0	0
	地方債						
	その他()						
	一般財源	0	3,378	0	440	440	880
人工数	職員		0.12人	0.06人	0.06人	0.06人	0.00人
	臨時職員等		0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
②概算人件費	0千円	900千円	0千円	450千円	450千円	450千円	0千円
①+②総事業費	0千円	7,278千円	0千円	1,330千円	1,330千円	1,330千円	0千円

4. 担当室による事務事業の点検

考察(H.28年度の取組評価、課題、施策への貢献、市民との協働など)	待機児童が発生した桔梗が丘放課後児童クラブに第2クラブ室をリースし、受け入れ児童数を増やし、平成29年3月末より利用を開始している。校区再編による今後の利用状況が不透明であることから、保育施設をリースにより拡充した。本物件については、平成32年度以降については、再度検討が必要である。クラブの運営にあたっている地域主体の運営委員会と協議しながら進めていく。
------------------------------------	--

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(現行)
今後の対応方針(課題解決への取組内容、具体的な見直し内容、継続の理由等)	6. 事務事業の取組に関する市の計画
女性の社会進出による共働き家庭の増加に加えて、平成27年4月1日施行の子ども・子育て新制度により、事業対象児童が小学3年生から全児童に拡大し、施設の設置基準も法令によって明確に示されたことから、放課後児童クラブの適正な受け入れ体制の整備が求められる。施設整備等が必要となり、待機児童解消に努めなければならない。施設整備にあたっては、各放課後児童クラブの状況に応じ、学校や地域と連携を図り、空き教室などの保育スペース及び人材の確保に努める。地方創生推進交付金(H28~30)活用による事業として、計画期間内は継続して実施する予定である。	ぱりっ子すくすく計画 男女共同参画基本計画